



unicef 
for every child

すべての子どものために
—UNICEFの取り組みと成果—

訳：UNICEF東京事務所 | 協力：公益財団法人 日本ユニセフ協会
発行：UNICEF

Division of Communication
3 United Nations Plaza New York, NY 10017, USA


pubdoc@unicef.org
www.unicef.org

© United Nations Children's Fund
2017年5月

デザイン：カミラ・ギャレイ

表紙写真：シリア・アラブ共和国ホムスの自宅から逃れ、
現在レバノンのベッカー高原にある非公式居住地で暮ら
すマハ・ナセンちゃん（6歳）。
© UNICEF/UN043572/Lister



A young girl with dark skin and short hair is smiling brightly. She is wearing a yellow, ruffled dress with lace detailing at the collar. She is holding up a large, blue, textured mosquito net with both hands, framing her face. The background is dark and indistinct.

マラリアなどの蚊が媒介する病気を防ぐ蚊帳の中で毎晩寝ているケニアのリネット・アティエノちゃん。

© UNICEF/UNI174109/Hallahan

すべての子どものために —UNICEFの取り組みと成果—

UNICEFは、出身国にかかわらず、生命と未来が危険にさらされている子どもたちを助けるため、第二次世界大戦の終戦直後に設立されました。私たちの使命は、助けを必要としている子どもたちに支援を届けることでした。

重要なのは、成果を上げることでした。

世界各地の紛争や危機によって何百万人も子どもたちが危険にさらされ、住む場所を奪われ、さらに多くの子どもたちが貧困や欠乏、暴力、搾取、差別に直面している今日、私たちが支援の成果を上げることはこれまで以上に重要となっています。そして、すべての子どものために成果を上げることは、現在もUNICEFの原動力となっています。

私たちには、この70年の間に現場で実証されてきた専門知識、世界に広がるネットワーク、イノベーションへの情熱、すべての資金を無駄にせず子どもたちのために活用していく決意があります。

最も危険な状態にあり、最も助けを必要としている子どもに支援を届けるため、私たちは世界の最も過酷な現場で日々活動しています。子どもの命を救うために、子どもの安全を確保するために、そして、彼ら一人ひとりが愛され、守られ、健康で、教育を受け、自らの潜在能力を発揮できる子ども時代を送るために活動しています。

それがUNICEFの仕事です。私たちは決して諦めません。

これまで、特にこの30年間、世界の子どもたちにとって極めて大きな前進が見られました。

- 5歳未満児の死亡率は、1990年以降50%以上減少しました。
- 5歳未満児の発育阻害は、1990年から2015年で41%減少しました。
- 栄養不良の子どもの割合は、1990年以降ほぼ半減しました。
- ポリオの症例は、1988年以降世界で99%減少しました。
- 0～14歳の子どもの新たなHIV感染数は、2010年以降50%以上減少しました。
- 開発途上国の3分の2の国で、初等教育を受ける女の子の数が男の子の数に追いつきました。
- より安全な飲料水にアクセスできる人の数が、1990年と比べ26億人増えました。

しかし、まだ何百万人もの子どもたちが取り残されています。

- 毎年約300万人の子どもたちが栄養不良で死亡しています。
- 予防接種によって、さらに年間150万人の命が助けられると推計されます。
- 2015年には5歳未満児が1日に約1万6,000人死亡しており、その大半は予防可能な原因によるものでした。
- 2分に1人の割合で15～19歳の青少年が新たにHIVに感染しており、その3分の2が女の子です。
- 2分に1人の割合で5歳未満児が蚊に刺されたことが原因で亡くなっています。
- 2014年の推計によると、3人に1人以上の子どもたち（約2億5,000万人）が読み書きや基礎的な計算能力を身に付けることなく小学校を離れています。
- 5,000万人の子どもたちが避難・移動生活を送っており、その多くが暴力や戦争・紛争、貧困、気候変動の影響を逃れるために移動を強いられたためです。





医療従事者が上腕の周囲をはかる測定テープを使い、
子どもが重度の急性栄養不良かどうかを検査します
(イエメン)。

© UNICEF/UN057347/Almang



予防接種を行う保健員は自動車、舟、トナカイ、
徒歩などさまざまな交通手段でやってくれます。
モンゴルに住むP・オトゴンジャルガルちゃん(4歳)
は、はしかと風疹の予防接種を受けました。

© UNICEF/UNI134401/Sokol

成果を生む、UNICEFの6つの戦略

1 ローカルなプレゼンス、グローバルな活動態勢

UNICEFは、子どものための組織としては最も多い190の国と地域で活動しています。政府、現地の団体、他の国連機関や子ども支援組織など、いかなる組織と連携する際も、私たちは、子どもの命を守り、暮らしをより良いものにする卓越した経験と専門知識を提供しています。

広大なネットワークを有し、1カ所で成功したアプローチを他の場所の問題解決へと活用できるため、UNICEFは世界的な規模で子どもたちのために成果を上げることができます。

成果

- 2016年には約100カ国において子ども向けの予防接種ワクチン25億回分を調達し、世界の5歳未満児の半数近くに上る子どもたちに提供しました。
- 2016年には8,500万人以上の子どもたちにはしかの予防接種を行いました。2000～2015年に、はしかの予防接種によって2,030万人の命が守られたと推計されます。
- この2年で4億4,700万人の子どもたちにビタミンAのサプリメントを提供し、子どもの失明を減らし、病気に対する免疫力を高め、子どもの死亡数を減少させました。
- この3年間で4,700万人近くの子どものために教材を提供しました。その多くは、紛争や危機によって住む家を失ったり何らかの影響を受けたりした子どもたちでした。
- この3年間で、人道危機下の4,900万人以上に安全な水を提供する支援を実施しました。
- この2年間で2,200万人近くの出生登録を支援し、子どもたちに正式な出生証明書を与え、重要な社会サービスを受けられない事態を回避する手助けをしました。

2 より少ない資金で より多くの命を救う

UNICEFの活動資金は、すべて任意の拠出によるものです。私たちは、子どもたちの命を救い、暮らしを改善するため、資金を最も効率的に活用できるよう努めています。UNICEFは、ワクチン、蚊帳、栄養治療食など救命・救援物資の世界最大の調達機関の1つとして、最低価格を交渉する上で大きな影響力を持っています。大量に購入し、透明性を確保することで、市場に影響を与え、コストを削減し、効率を高めることができます。

そして、より多くの命を救うことができます。

成果

- 2016年に5価ワクチンの価格を、従来価格の半額である1回分平均84セントにまで下げることができました。このワクチンは、ジフテリア、破傷風、B型肝炎など子どもの命を奪う5つの病気から守るもので、2020年までに570万人の子どもたちの命が助かると推計されます。
- 蚊帳の平均価格を2000年の5.50米ドルから2015年には2.34米ドルに引き下げることに貢献しました。この間マラリア関連の死者数は50.3%減少し、2001～2015年に680万人の命が救われました。2015年、UNICEFは30カ国で2,200万以上の蚊帳を配布しました。
- 2016年にワクチンやその他の子ども支援のための物資調達において約5億2,000万米ドルを節約し、この5年間でUNICEFとそのパートナー団体は約15億米ドル節約できたと推計されます。



ブルキナファソ東部地方の保健所で、栄養治療食を食べる栄養不良のサーマトウ・バンゴウちゃん（7カ月）。

© UNICEF/UNI122783/Asselin



ギリシャのレスボス島に上陸した難民の子どもを抱きかかえるキナン・カドウニさん（26歳）。現在はベルギーに暮らす彼自身もシリア難民です。

© UNICEF/UNI197517/Gilbertson VII Photo

3 緊急時の対応と準備

UNICEFは、緊急事態の発生前も、発生している間も、発生後も常に現場にいます。私たちは世界規模のサプライチェーンを持ち、現場にはスタッフがいます。必要な場所へ迅速に支援を届けることができます。実際、UNICEFは世界のほぼすべての場所に48時間以内に救命・救援物資を送ることが可能です。緊急時には、国連機関、国際NGO（非政府組織）、現地パートナー団体の支援活動をリードし、子どもたちに安全な水と衛生、栄養、教育を届けます。

同じく重要なのが、UNICEFは現場にとどまって活動を続けるということです。平時の私たちの活動が、将来もしコミュニティが紛争や自然災害などの衝撃を受けたときに乗り越える助けとなるのと同じように、非常時の私たちの対応が長期的な発展の基盤となることを認識しているからです。

成果

- 2016年には、108カ国で紛争や自然災害など344の緊急事態に対応しました。
- 2016年には、人道危機下にある約2,900万人に安全な水を届けました。シリア国内だけで370万人に上ります。
- 2016年には、人道危機下にある1,170万人の子どもたちに基礎教育を提供しました。
- 2016年には、人道危機において、重度の急性栄養不良になっている250万人の子どもたちを治療しました。
- 2016年1月～10月に、ラテンアメリカとカリブ海諸国の18カ国に住む1億6,200万人以上の人々にジカ熱の予防方法についての情報提供を行いました。

4 古くからの問題に 新たなソリューションを

イノベーションは常に、子どもたちのために成果を上げるUNICEFの力の核を成しています。1980年代と1990年代に子どもの生存革命の推進を助けたイノベーションへの取り組みは、今日も変わらず続いています。

効果が実証されたソリューションを広く普及させるためのグローバル・イノベーション・センター、そして開発の初期段階にある有望なプロジェクトに資金を提供するイノベーション・ファンドを通じて、UNICEFは最も助けが届きにくい子どもたちやコミュニティに支援を届けるために、新しい技術と製品の開発を推進しています。

成果

- 「マジックボックス」と呼ばれるイニシアティブのもと、グーグル、IBM、テレフォニカといったテクノロジー関連の大手企業とパートナーシップを結び、緊急事態への対応能力の向上を目指して、リアルタイムのデータを収集、分析しています。
- 「RapidPro (ラピッド・プロ)」という携帯電話を使ったプラットフォームを通じて、妊産婦および子どもの死亡率低下を支援しました。ザンビアでは、農村部に住むHIV陽性の母親が、従来の半分の時間で自分の子がHIV陽性かどうか知ることができるようになりました。これは、乳児へのHIV感染防止上極めて重要なことです。
- ネット環境にない人々に「良いモノのインターネット (Internet of Good Things)」と呼ばれるプラットフォームを通じて、教育と救命に関する情報を届けています。現在 40カ国以上で利用可能で、コンテンツは20以上の言語で提供され、月に100万人以上に届けられています。
- マラウイでHIVの検査結果の輸送を速めるために人道目的では初めてドローンを使用したり、パキスタンで出生登録の推進に携帯電話を活用したりするなど、新しいアプローチの試験を行っています。



マラウイで、ドローンのデモ飛行を見つめる子どもたちと地元住民。UNICEFは、支援の届きにくい地域にワクチンその他の救命・救援物資を届けるため、ドローン活用の試験を行っています。

© UNICEF/UN013394/Khonje



ベトナムの農村部にあるバンボー小学校で肩を組む3人の女の子。UNICEFが支援する学校では、安全で子どもにやさしい学習環境で教育を提供しています。

© UNICEF/UNI10369/Estey

5 強力なパートナーシップ

UNICEFによる子どもたちのための活動は、政府やNGO、市民社会や民間企業との強力なパートナーシップによって可能となっています。同様に、私たちは信頼性、公平性、過去の実績によって、パートナーに選ばれています。

イケア、レゴ、ユニリーバといったグローバル企業が、自らのリソースを活用してイノベーションを推し進め、すべての子どもに支援を届けるUNICEFの活動をサポートしています。

極めて寛大な個人のサポーターの方々は、寄付、ボランティア活動、自らのコミュニティにおける子どものためのアドボカシー（政策提言活動）などを通じ、UNICEFが子どもの暮らしに変化をもたらす手助けをしてくれています。

そしてもちろん、UNICEFがすべての子どものために成果を上げられるかどうかは、最も重要なパートナーである政府にかかっています。各国政府は、あらゆる地域の子どもに支援を届けることを可能にする重要なリソースを提供してくれています。

成果

- UNICEFは2016年、100万人以上の子どもたちを支援してきたFCバルセロナ基金とのパートナーシップ10周年を祝いました。FCバルセロナは、疎外された子どもたちをスポーツを通じて支援するために、今後も年間200万ユーロ（220万米ドル）を提供。チームのユニフォームにUNICEFのロゴを掲げ、何百万人ものファンに対し子どもの権利に関する意識・関心を高めるための活動を続けます。
- トルコに住む23万人のシリア難民の子どもたちの教育を助けるため、EU（欧州連合）と共同で3,400万ユーロ（3,600万米ドル）規模のプログラムを立ち上げました。これは、EUによる緊急時の教育への人道支援としては過去最大規模です。
- 1990年以降、ビル&メリンダ・ゲイツ財団やその他のパートナーと協力し、主にワクチンの予防接種キャンペーンによって1億2,200万人の子どもたちの命を救う支援を行いました。
- 母親と新生児の破傷風を根絶するため、2006年にパンパース社と提携しました。この戦略的パートナーシップによって1億人の女性とその乳児に3億回分のワクチンを提供し、約50万人の乳児の死亡を防ぎました。

6 子どもたちの代弁者

UNICEFは子どもたちの代弁者として、世界でリーダー的な立場にあり、子どもとともにその声を発信しています。また、世界中の子どもが置かれている状況についての主要なデータソースであり、情報源となっています。UNICEFは、公平で政治的偏りがなく、子どもの権利の侵害に対し決して沈黙しません。

子どもに関連する問題を扱ったUNICEFの研究やレポートは、ジャーナリスト、研究者、政策立案者、政策提言者にとって、重要で権威のあるデータベースとなっています。

UNICEFはソーシャルメディア上、巨大で世界的なプレゼンスがあり、何百万人もフォロワーに向けて、UNICEFの活動についての情報を広めています。

UNICEF創設初期のダニー・ケイやオードリー・ヘップバーンから、今日の著名人やインフルエンサーに至るまで、UNICEFの親善大使は、子どもに関わる理念や活動をサポートするよう、世界中で人々に働きかけてくれています。

そして最も重要なのは、UNICEFはすべての活動において、若者たちが自らの生活や人生に影響を及ぼす決定に関われるように、彼らを巻き込み、エンパワーメントしていることです。

成果

- UNICEFのソーシャル・メッセージ・ツールである「U-Report」を通じ、34カ国の若者300万人以上が意見を発信し、行政のリーダーとつながることを可能にしました。これによって、リベリアではエボラ出血熱についての誤った情報が正され、ザンビアではHIV/AIDSの検査が広まる助けとなりました。
- 世界的に有名なシンガーソングライターシャキータとFCバルセロナのスター選手ジェラルド・ピケが第2子誕生に先立ち主催した、世界規模のベビーシャワーを支援しました。このイベントでは、ポリオワクチン7万1,000回分とはしかワクチン6万5,000回分に十分な額の寄付金が集められました。
- 2016年には、若者が「若者たちの声 (Voices of Youth)」で約2,000件の記事を発表しました。これは若者が自分たちにとって重要な社会問題について意見交換を行う初めてのオンラインコミュニティの1つであり、訪問数は年間100万回以上に上ります。
- ソーシャルメディアで3,600万人以上がUNICEFをフォローしており、2016年に世界で最もフォロワーの多い非営利団体の1つとなりました。UNICEFのFacebookページは、国際機関の中で最も多くの「いいね!」を獲得し、Twitterアカウントは世界のリーダーたちによるフォローを2番目に多く集めています。



ニジェールのディファにある母子センターの栄養回復病棟を訪問し、乳児を抱くUNICEF親善大使のオランダ・ブルーム。

© UNICEF/UN054065/Tremeau

すべての子どものために

誰であっても

どこに住んでいても

すべての子どもに

ふさわしい子ども時代が

未来が

公平な機会が

あるべきです。

だからこそ、UNICEFは

一人ひとり、すべての子どものために

190の国と地域で

日々活動を続けています。

最も支援の届きにくい子どもに

助けから最も遠いところにいる子どもに

最も取り残されている子どもに

最も疎外されている子どもに

必ず支援を届けるために。

だからこそ、私たちは最後まで

決して諦めないのです。



for every child